

## 計画の進め方

### 協働によるまちづくりの推進

目指すべきまちの将来像の実現に向けた取り組みは、行政だけが進めるものではありません。「自助・共助・公助」による「補完性の原則」に基づき、南丹市に関わる全ての人がまちづくりに参画することが求められます。

このことから、市民・各種団体・事業者・行政などは、それぞれ役割分担の下、十分な協力・連携を図りつつ、一人一人ができることから行動を起こし、協働によるまちづくりを進めていく必要があります。

### 施策連携による計画の推進

人口減少や地域コミュニティ機能の低下などが進む社会経済情勢の中で、まちの課題は分野をまたがり、多様化・複雑化しています。

異なる分野の施策を連携させることで相乗効果を生み出すため、「施策連携プロジェクト」を設定し、さまざまな連携・協働による推進を図ります。

◀ 施策連携プロジェクトの一例

#### ○プロジェクト1

##### なんたん健康（けんこう）都市プロジェクト

⇒健康寿命の延伸に向けた取り組みを進めるとともに、地域経済の活性化につなげる検討を進めます。

#### ○プロジェクト2

##### 地域とともにある学校づくりプロジェクト

⇒地域・家庭・学校が目指す子ども像を共有し、連携・協働してその実現に向けて取り組みます。

#### ○プロジェクト3

##### まるごと体験交流ツーリズムプロジェクト

⇒多様な主体が連携した魅力的な体験プログラムの企画・運営を通じて、地域経済の活性化を図ります。

#### ○プロジェクト4

##### バイオマスを中心としたグリーンプロジェクト

⇒バイオマスなどのエネルギー資源の利活用を広げ、地域経済や市民活動の活性化などにつなげます。

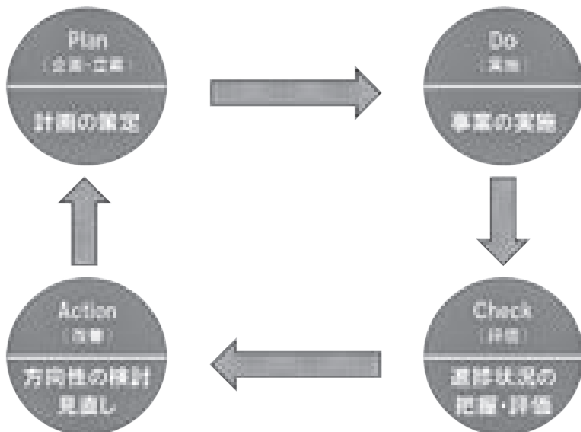
#### ○プロジェクト5

##### 「なんたんブランド」プロモーションプロジェクト

⇒個性ある資源を生かした「なんたんブランド」づくりと、他分野での活用を図ります。

### 計画の進行管理

本計画を着実に推進していくため、PDCAサイクルに基づく進行管理により、効果的・効率的な行政運営につなげます。各個別計画などにおける進捗管理との整合を図ることはもちろん、社会情勢の変化や市政全般の動きなどを踏まえ、行政内部の視点だけでなく、外部からの視点も取り入れ、総合的に進捗度と達成状況を確認し、効果的な進捗管理を行います。



▲PDCAサイクルの考え方

## ビジョンマップの作成について

南丹市が目指す将来像や、地域の将来像を市民の皆さんに分かりやすく表現するため、市民ワークショップで出し合ったさまざまな意見を取りまとめ、手に取ってもらいやすいように、ビジョンマップを作成しました。

第2次南丹市総合振興計画の概要版と併せて、各戸に配布する予定です。



▲市民ワークショップの様子

問い合わせ先

定住・企画戦略課

TEL(0771)68-0003